

## 県交安協・全標協県支部の賀詞交歓会

# 一丸で業界発展目指す

### 知事認可から10年 120人が節目の門出祝う



白鳥理事長

県交通安全施設業協同組合(白鳥和重理事長)と全国道路標識・標示業協会千葉県協会(増田孝会長)は、千葉市中央区のホテルポートプラザで5日、新春交流会を開催した。当日は、来賓として川名寛章県議会議員などを招いたほか、多くの組合員・賛助会員らも出席し、総勢約120人で新しい年の門出を祝った。

冒頭、あいさつに立った白鳥理事長は、足元の悪い中にもかかわらず、大勢の関係者が参加してくれたことへ感謝の意を述べるとともに、組合が今年で知事認可を受けてから10周年の節目を迎える事を報告。「歴代理事長の方針を現執行部は忠実に継承していく」と強調した。また、▽鈴木忠治氏による特別講演

「千葉県のインフラ整備と観光」の開催▽緑の募金への寄付▽賛助会員による商品説明会▽標識点検・清掃のボランティアなど、昨年の組合活動についても語り、「精力的に活動を展開できたのもすべては組合員・賛助会員、関係機関の協力がある」と改めて謝意を示した。

さらに、県の新年度予算案にも触れ、「建設業関係予算は横ばい状態。今年も関係部署へ、分離発注や予算拡充等を要請していく」と力強く語った。

最後に、今年も組合の理念の一つである「子どもたちの光り輝く未来へ、県内の安全確保に努める」を達成するため、陳情活動やボランティア活動等を通じ、組合員・賛助会員が一丸となり、業界と地域の発展に向けて注力していくことを呼びかけ、新年のあいさつを締めくくった。



川名県議

会長の川名県議が各々の立場から、「県民の安全・安心を守るためにも、標識やガードレールなどの整備は不可欠。業界全体で声を挙げていこう」と述べ、組合・業界発展への後押しを約束した。

また、全国道路標識・標示業協会の遠藤芳郎会長は、ガイドラインが4月から運用される担い手三法の改正に触れ、「正直者や努力したものが報われる法律。ダンピング受注の排除や適性利潤の確保に期待ができる」と歓迎した。



遠藤全標協会会長

「素晴らしいリーダーはお金を残す、もっと素晴らしいリーダーは事業を残す、さらに素晴らしいリーダーは人を育てて残す」という言葉を引用し、「我々も技術研鑽や知識習得だけでなく、公共福祉に役立てる人材を育てていかなければならない」と語り、祝辞に代えた。



「素晴らしいリーダーはお金を残す、もっと素晴らしいリーダーは事業を残す、さらに素晴らしいリーダーは人を育てて残す」という言葉を引用し、「我々も技術研鑽や知識習得だけでなく、公共福祉に役立てる人材を育てていかなければならない」と語り、祝辞に代えた。

### 乾杯後、みんなで交流を深める